

みずほCustomer Desk Report 2025/09/12 号 (As of 2025/09/11)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	147.54
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	147.40	1.1701	172.45	1.3528	0.6618
SYD-NY High	148.20	1.1745	173.05	1.3583	0.6665
SYD-NY Low	146.99	1.1661	172.37	1.3495	0.6591
NY 5:00 PM	147.23	1.1734	172.79	1.3573	0.6661
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	46,108.00	617.08	日本2年債	0.8500%	0.0000%
NASDAQ	22,043.07	157.01	日本10年債	1.5700%	0.0100%
S&P	6,587.47	55.43	米国2年債	3.5426%	▲0.0002%
日経平均	44,372.50	534.83	米国5年債	3.5980%	0.0034%
TOPIX	3,147.76	6.79	米国10年債	4.0244%	▲0.0201%
シカゴ日経先物	44,620.00	720.00	独10年債	2.6504%	▲0.0033%
ロンドンFT	9,297.58	72.19	英10年債	4.6050%	▲0.0260%
DAX	23,703.65	70.70	豪10年債	4.2380%	▲0.0420%
ハンセン指数	26,086.32	▲ 113.94	USDJPY 1M Vol	9.14%	▲0.31%
上海総合	3,875.31	63.09	USDJPY 3M Vol	9.53%	▲0.04%
NY金	3,673.60	▲ 8.40	USDJPY 6M Vol	9.42%	▲0.08%
WTI	62.37	▲ 1.30	USDJPY 1M 25RR	▲0.84%	Yen Call Over
CRB指数	300.32	▲ 1.53	EURJPY 3M Vol	7.81%	▲0.04%
ドルインデックス	97.53	▲ 0.25	EURJPY 6M Vol	8.19%	▲0.10%

東京	東京時間のドル円は147.40レベルでオープン。米8月CPIの発表を控え、しばらくは動意にかける展開。ただ東京時間終盤に「高市氏が総裁選出馬意向を岸田前首相に伝達」とのヘッドラインが流れ、財政拡張懸念を背景とした円売りが進み、147.71レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、147.71レベルでオープン。海外時間に流れた高市氏の出馬表明に関するヘッドラインからクロス円全般が上昇。ただ午後に米8月CPIと新規失業保険申請件数の発表を控える中で大きく動くことはなく、結局147.97レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は、147.97レベルでオープン。朝方に発表された米8月CPI(前月比)が予想を上回った一方、米新規失業保険申請件数が予想比悪化する強弱混合な内容に、発表直後はドル買いで反応し、一時148.20まで上昇。ただすぐに米金利が低下すると一転ドル売りが強まり、一時146.99まで下落。一服後は147円台前半で方向感を欠いた推移となり、147.23レベルでクロス。一方、ユーロドルは朝方にECBが主要政策金利を2.15%に据え置く事を発表。その後に行われたラガルドECB総裁の記者会見で「ユーロ圏の経済成長におけるリスクはより均衡した」等と利下げサイクルの終了を示唆するような文言を受け、1.1745まで買われる。午後は高値圏の1.1740付近を中心とした推移が続き、その後1.1734レベルでクロス。

国際為替部 為替営業第二チーム

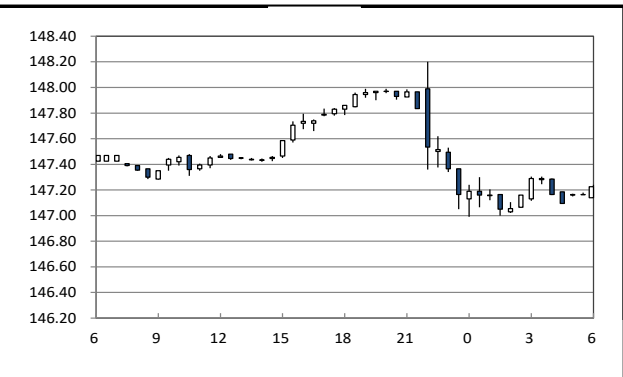
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月11日	21:15	欧	ECB預金ファシリティ・レート	11-Sep 2.0%
	21:30	米	CPI(前月比/前年比)	8月 0.4%/2.9%
	21:30	米	コアCPI(前月比/前年比)	8月 0.3%/3.1%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	6-Sep 263k
	21:15	欧	ラガルドECB総裁 会見	「経済成長に対するリスクは、より均衡した」

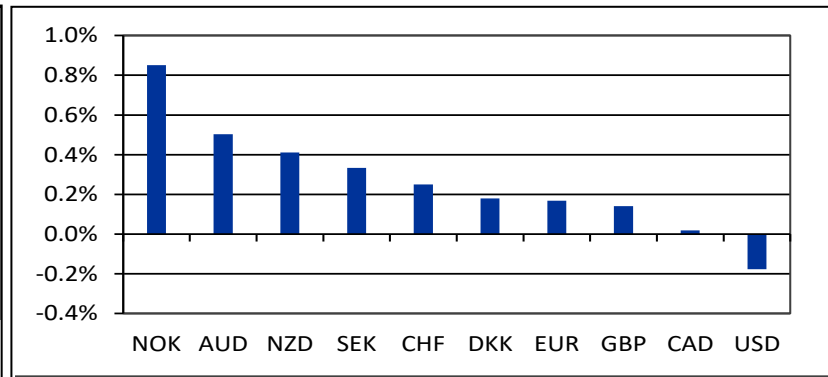
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月12日	15:00	英	鉱工業生産(前月比/前年比)	7月 0.0%/1.1%
	15:00	英	製造業生産(前月比/前年比)	7月 0.1%/1.7%
	23:00	米	ミシガン大学消費者マインド・速報	9月 58.0

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	146.50-147.80	1.1700-1.1800	171.80-173.80

【マーケット・インプレッション】

米国8月消費者物価指数(CPI)は市場予想とほぼ一致し、追加利下げ織り込みを加速させる結果には至らず。これを受けたドル円相場は一時146.99円まで下値を試す場面があったものの、他通貨クロスの影響もあり円安水準を維持した。中長期的な為替の方向性については、ECBが利下げサイクルの終盤に差し掛かっている一方、米国連邦準備制度理事会(FED)は利下げサイクルを継続しており、両者の金融政策スタンスの差がドル売り圧力を高める構図となっている。しかしながら、日本においては政局動向を背景に金融政策の現状維持期待が根強く、円安水準の継続を予想する。当面は金融政策スタンス差によるドル売り基調と、日本の現状維持姿勢が円安水準を下支えする展開に注目すべき局面であろう。
--

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。